



わが社のインターンシップ

大田原 健太郎

1. 化学工学会インターンシップ実習の紹介 (株)クレハ

当社では、昨年度より化学工学会の学生向けインターンシップを開始しました。8月中旬から2週間程度の日程で、製品プロセスの開発研究を体験してもらいましたので、その実施状況を紹介します。

〈実習概要〉

実習先は福島県いわき市にあるプロセス開発研究所で、昨年度は3つの開発テーマで募集をおこないました。各テーマ1名の大学院生に対して、中堅技術者の指導員1名と若手技術者のアシスタント1名がつかます。実習中は、歩いて10分の食堂施設のある社員寮（一人部屋）で社員とともに寮生活を体験して頂きました。

〈実習の流れ〉

実習生は事務手続きを終えた後に、安全教育を通じて当社の安全管理の方針と具体的な安全行動について理解して頂きました。安全教育が終わると研究所に移動し、各テーマに分かれて研修を開始します。初日に指導員よりテーマ概要の説明を受け、翌日からはテーマ内容に沿った実験や解析に取り組みました。2週間のプログラムが組まれていますが、実際には想定通りいかないことや新しいアイデアが出ることもあり、計画を修正しながら研究を進めていくことになります。実習の最後には成果発表会をおこない、当研究所のメンバーに加えて研究内容に関連する他研究所の幹部も出席する中で、プレゼンテーションと質疑・意見交換をおこないました。

〈余暇の過ごし方〉

実習期間中の休日には、社員寮自治会主催のビアパーティーに参加してもらいました。実習中盤の息抜きだけでなく、若手社員と交流を深めることにより、一層当社の理解が深まったのではないかと考えています。



Kentaro OTAWARA（正会員）
1987年 東京大学工学系研究科化学エネルギー工学修士課程修了，Kansas State Univ. Ph.D
現 在 (株)クレハ プロセス開発研究所長
東京工業大学，東京農工大学 非常勤講師
連絡先：〒973-8686 福島県いわき市錦町落合16
E-mail k-otawara@kureha.co.jp



炭材パイロット



中央研究棟(プロセス開発研究所が入居)

2. 実習部署としての感想

インターンシップは学生と企業が相互に知り合うことができる貴重な機会であると実感し、今後も活動を継続していく方針です。この活動を通して日本の「ものづくり」の中でも特に重要な役割を果たしている化学会社がどういうところなのかを理解してもらえんことを期待しています。

与えられたテーマ以外での化学会社の理解や実習生の持つバックグラウンドに応じた指導に取り組むなど、内容をブラッシュアップしてより良いインターンシップにし、募集人数も増やしていくことを企画しています。皆様の参加をお待ちしています。